

特別例会 「みんなで歩こう水戸街道」 報告書

開催日：2022年7月23日(土) 集合場所：JR常磐線取手駅西口
集合時間：8時30分～9時 開会式：9時～9時15分 終了後スタート
コース・距離：①JR常磐線牛久駅西口:20km、②JR常磐線荒川沖駅西口:28km、
ゴール時間：①14時10分頃 ②15時55分 参加者：24名(会員20名、子供1名)
天候：晴れ／曇り (高温 ~35℃)

ウォーキング状況

ちょっと歩き慣れてくると距離を伸ばしたくなる。隣の町まで脚をのばせば新たな発見に繋がり、古い道筋を何日もかけて歩き続ければ歴史に裏付けられた街道歩きになる。水戸街道(北千住から水戸までの約110km)もその一つであり、本陣のある宿場町、道路沿いの寺院等を当時の旅人になったつもりで訪れながら歩けば楽しい筈だ。取手市歩こう会様が日本橋から取手までのナイトウォークを実施しているので、今回は取手宿から荒川沖宿までの28kmをみんなで歩くことにした。



(暑さ対策のため、十分な休憩、給水を取りながら実施)

取手駅から藤代宿に向かって歩き始めると、すぐ取手宿本陣染野屋住宅に着く。非公開日あたり屋敷内に入れなかったが、案内版より当時の盛況ぶりが窺えた。利根川沿いを離れ藤代宿までの田園地帯をまっすぐ北に進むと、傍らの石標には陸前浜街道とある。千住から水戸、水戸以北を併せて陸前浜街道と呼んだらしい。藤代宿本陣跡(藤代公民館)を過ぎしばらく歩くと若柴宿へ。立派な門構えの屋敷が並び、新田義貞の墓がある金龍寺、常陸国太守平貞盛によって建立されたという星宮神社を経て若柴公園に着き、昼食タイム。辿った道を思い出しながら会話が弾んだ、けどとにかく暑かった。

昼食後、牛久宿に向かって歩き出す。田舎の新道が続き成井の一里塚(草むらの中で見えなかった)を過ぎて、旧道に入り常磐線を渡ると国道6号に出た。すぐ左に分かれる旧道を登ると牛久宿。水戸街道の丁度中央に位置する重要な宿駅だったようだ。小川芋銭の記念碑への道標を見ながら、更に進むと「明治天皇牛久行在所」と刻まれた石碑が建っていた。再び国道に出て牛久駅入り口に着いたが、疲労、熱中症の恐れも有り牛久駅でひとまず解散。余力のある人のみ荒川沖宿に向かって北上。旧道と国道が重なった道を歩いていると、道の両側に別々の名の一里塚(荒川沖・中根一里塚跡)に迎えられる。更に1km歩くと旧道への分かれ道で、すぐ荒川沖宿。小さな宿場町で旧家も残っているが、次回のお楽しみにしてゴールの荒川沖駅へ。



江戸街道起点(水戸市)

江戸定府の為水戸藩主の通行は稀だったが、家臣の通行は頻繁だったようだ。水戸徳川家の勢力拡大により街道整備が進み、多くの大名が利用されたと言う。風雲急を告げる幕末に水戸藩士が江戸・水戸間を駆け巡ったのもこの街道だと言うと親近感が増す。今日は暑さで難儀し、数名が牛久駅に辿りつけなかった。あと3回の街道歩きで水戸に着きます。また次回8/3(水)の例会は「偕楽園・千波湖など水戸歴史の道」ですので、水戸市の魅力を一足先に楽しみましょう。ご期待下さい。(戸田)